



クラウド・コンピューティング環境における Oracle ソフトウェアのライセンス

本資料は、以下のベンダーが提供するクラウド・コンピューティング環境に適用されます:

Amazon Web Services

- Amazon Elastic Compute Cloud (EC2), Amazon Simple Storage Service (S3)

クラウド・コンピューティング環境における Oracle プログラムのライセンス許諾の際には、「バーチャル・コア」を「物理コア」と同等に換算してカウントする必要があります。このカウント方法は、Processor の価格単位を持つすべてのプログラムに適用されます。

製品名称に Standard Edition One もしくは Standard Edition が付くプログラムが許諾される場合、EC2 コンピュータのサイズに基づく価格設定がなされます。EC2 コンピュータが 4 バーチャル・コア以下の場合は、1 ソケットとしてカウントされます。EC2 コンピュータが 4 バーチャル・コアを超える場合は、EC2 コンピュータのバーチャル・コア数を 4 で割り、小数点以下を切上げてカウントします。

(例: 5 バーチャル・コアは、 $5 \div 4 = 1.25$ 、小数点以下 0.25 を切上げて 2 ソケットとしてカウントします。)

クラウド・コンピューティング環境では、Oracle Database Standard Edition を使用できる EC2 コンピュータは、保有するバーチャル・コア数が 16 以下であることが条件となります。

クラウド・コンピューティング環境では、Oracle Database Standard Edition One を使用できる EC2 コンピュータは、保有するバーチャル・コア数が 8 以下であることが条件となります。

計算例 1. Amazon EC2 環境で Oracle Database Enterprise Edition (Processor ライセンス) を許諾:

1 台の EC2 コンピュータにおいて、Intel 製のマルチコア・チップで 8 バーチャル・コア保有する環境では 4 Processor ライセンスが必要です。(8 バーチャル・コア x 係数*0.5=4 Processor)

*マルチコア・プロセッサの適用係数については、Oracle Processor Core Factor Table を参照ください。

計算例 2. Amazon EC2 環境で Oracle Database Standard Edition (Processor ライセンス) を許諾:

- 1 台の EC2 コンピュータ (バーチャル・コア数 1 以上 4 以下を保有) の環境では、1 ソケットとしてカウントされるため、1 Processor ライセンスが必要となります。

- 1 台の EC2 コンピュータ (バーチャル・コア数 5 以上 8 以下を保有) の環境では、2 ソケットとしてカウントされるため、2 Processor ライセンスが必要となります。

- 1 台の EC2 コンピュータ (4 バーチャル・コア保有)、および 4 台の EC2 コンピュータ (各 1 バーチャル・コア保有) の環境では、それぞれ 4 バーチャル・コアは 1 ソケット、1 バーチャル・コアは 1 ソケットとしてカウントされます。5 台のコンピュータ合計では、5 Processor のライセンスが必要となります。

またクラウド・コンピューティング環境において、Named User Plus ライセンスを適用することができます。その際、製品によっては最少契約数の制限が適用されます。

クラウド・コンピューティング環境において Oracle Enterprise Linux Support を使用する際は、各 EC2 コンピュータが「System」としてカウントされます。Enterprise Linux Basic Limited と Enterprise Linux Premier Limited のサポート提供については、EC2 サーバーが保有するバーチャル・コア数が 8 以下であることが条件となります。

本文書は予告なく変更される場合があります。本文書は日本オラクル株式会社の書面による明示的な許諾なく、いかなる方法においても転載することは許されておりません。
日本オラクル株式会社